

受 付 番 号	2024-4		
許 可 番 号	大歯医倫 第 111326 号		
研究課題名	新規歯面漂白剤の漂白効果と歯面の表面性状の変化に関する研究		
研究責任者	中井 真理子	申 請 者	中井 真理子
研究終了日	2025 年 3 月 31 日		
所 属	歯科法医学室	所 属	歯科法医学室
職 名	助教	職 名	助教

申請の概要

一般的に、酸化チタンや 35%過酸化水素を混合した薬剤を歯面に塗布し、光照射することにより歯の漂白効果が認められる。我々はヒドロキシアパタイト配合のトゥーストリートメントペーストに酸化チタンやシリカ粉末、35%過酸化水素を混合して用いる新規歯面漂白材を開発した。ヒトの歯のエナメル質の厚みは歯種により差があり、中切歯から犬歯唇側で 1000 μm 程度、小臼歯頬側面で 1300 μm 程度、大臼歯頬側面で 2000 μm 程度である。そこで、ホワイトニング効果が最も求められる前歯部の抜去歯牙に薬剤を塗布し、薬剤の漂白効果や歯面の表面性状の変化を調査することを目的とする。